

「第三次郡山市協働推進基本計画（2026～2034）」 成果指標・活動指標及び令和8（2026）年度実施計画											
計画進捗と指標の関連性						R8～R10 →年度ごとに活動指標又は成果指標の推移確認 短期的な成果を確認 R11（中間見直し）→市民アンケートで、中期的な成果を確認					
	No.	重点項目	重点項目概要（計画から抜粋）	活動指標	成果指標	令和7（2025）年度取組状況	R7現況値	令和8（2026）年度取組予定	R8目標値	中間見直し (R10)	R15目標値
基本方針1		協働の担い手となるひとづくり								アンケートによる 成果指標の集計 市民活動の参加率	
施策（1）主体的にまちづくりに参加する意識の醸成	1	まちづくりについて話し合える機会の創出	地域づくりや行政の事業に対して、誰もが自由に意見を述べたり、話し合ったりできる機会をつくります。特に次世代を担う若者に向けては、仲間同士で参加しやすい環境づくりに取り組みます。	市民活動交流サロン（多世代の対話の場）の参加者数		サポセンで実施している多世代の対話の場の年間参加者数 ・市民活動交流サロン：6回（120人）	120人	サポセンで実施している多世代の対話の場の年間参加者数 ・市民活動交流サロン：5回（100人） ・学生団体の意見交換会：2回（20人）	120人		初期値を上回る
	2	地域や学校等と連携し、まちづくりの体験・経験ができる機会の充実	子どもや若者が、地域との協働によるまちづくりを経験できる機会の充実を図ります。また、若者のまちづくりに関するニーズを把握し、地域と若者が関係性を構築する機会をつくり、具体的な活動につないでいきます。		Koriyama Z-LINK(パートナー制度)へ登録されたパートナーによるデジタル名刺の交換回数			Koriyama Z-LINK(パートナー制度)の登録者数20人	(R8から集計) 100回		R8実績値より算定
	3	協働の意識醸成のための講座や行政職員向け研修	協働のまちづくりを進めるための講座を開催します。また、市民との協働を深めるため、市職員向けの研修を実施します。	市民協働の講座の受講者数		①サポセンで実施している各種講座の受講者数 ・市民協働のまちづくり塾：8回（203人） ・まるわかりミニ講座：48団体 ・出前講座：0人（0団体） ②市が実施する講座の受講者数 ・出前講座：109人（4団体）	360件	①サポセンで実施している各種講座の受講者数 ・市民協働のまちづくり塾：8回（200人） ・まるわかりミニ講座：40団体 ・出前講座：20人（2団体） ②市が実施する講座の受講者数 ・市職員向け協働のワークショップ：50人 ・地域協働のワークショップ：30人 ・出前講座：100人（4団体）	440人		510人
	4	ガイドブック、ウェブサイト、SNS等を活用した協働意識の啓発	誰にでも分かりやすい本計画の概要版を作成し、機会をとらえて周知・啓発を行います。また、市民活動サポートセンターの積極的な活用のための周知を行います。	アウトリーチ等による協働の啓発回数				アウトリーチ、出前講座等の回数を計上 ・サポセンのアウトリーチ（サポセンが依頼したNPOの派遣も含め）：18回 ・出前講座：2回	(R8から集計) 20回		R8実績値より算定
施策（2）まちづくりを支える多様な人材の活用	5	シニア世代をはじめとした様々な人材を活用した事業の充実	市民活動サポートセンターの登録者数を増やし、登録者のスキルを活用して様々な人材と市民活動を効果的につなぎます。また、シニア世代や子育てが一段落した世代を含む幅広い人材を活用した事業の推進を図ります。		サポートセンター登録者数 ※一次実計	サポートセンターに登録している団体、個人の数 ・57人、247団体	304件	サポートセンターに登録している団体、個人の数	315件		420件
	6	関係機関との連携によるボランティア、人材の活用	郡山市社会福祉協議会やボランティアを活用している関係各課と連携し、ボランティアの情報を共有するとともに、活用の利便性を高める仕組みづくりを進めます。	サポートセンターのボランティア情報発信件数		【参考】サポセンが、各団体から依頼があったボランティア情報を発信した件数 ・ウェブサイト掲載：22件 ・SNS：22件 ・サポートメール：12件	56件	サポセンが、各課がスペースにあげた、または各団体から依頼があったボランティア情報を発信した件数 ・ウェブサイト掲載：25件 ・SNS：25件 ・サポートメール：12件	(R8から集計) 62件		R8実績値より算定
	7	市民活動の顕彰等による地域人材の発掘	地域で活躍する人材を顕彰し、その活動を広く市民に周知するとともに、団体や個人同士が交流できる場を設け、協働のきっかけとなる機会を提供します。		まちづくりハーモニー賞顕彰件数	まちづくりに先進性や波及効果のある優れた取り組みとして、まちづくりハーモニー賞において顕彰した件数 ・9件 ※基本施策2の成果指標	9件	まちづくりに先進性や波及効果のある優れた取り組みとして、まちづくりハーモニー賞において顕彰した件数	初期値を上回る		初期値を上回る
基本方針2		協働を醸成する環境づくり									
施策（3）誰もがいつでも得られる情報の発信・共有	8	世代によって受け取りやすいSNSの選択や多様な媒体の活用	市民活動の情報発信においては、世代ごとに適したSNSを選んで活用します。また、必要に応じて紙媒体も取り入れ、誰にでも分かりやすく、関心を持ってもらえる情報を発信します。	サポセン情報発信数		サポートセンターから一斉に情報を発信した回数 ・サポートメール：12回 ・Facebook：24回 ・広報誌：4回	40件	サポートセンターから情報を発信した回数 ・サポートメール：12回 ・インスタ：30回 ・広報誌：3回	45件		80件
	9	ICTを活用した市民参画と、活用のための人材育成	幅広い世代によるICT活用を促進するため、市民向けのスマートフォン講座やデジタル活用のための講座を開催します。	ICT活用のための市民、市民活動団体等対象の講習会の受講者数		町内会向けデジタル活用出前講座や高齢者向けスマホ講座など、町内会活動のDXや高齢者等のICT活用を推進するため、事業者との協働で開催した操作体験講座等の参加者数（開催数） ◆町内会DX推進事業（市民・NPO活動推進課）77人（8回） ◆スマートシニア応援事業（健康長寿課）265人 ◆中央公民館定期講座（中央公民館）65人 ◆スマートフォン講座（地区・地域公民館）（生涯学習課）281人（26回）	688人	町内会活動のDXや高齢者等のICT活用を推進するため、事業者との協働で開催した操作体験講座等の参加者数（開催数） ※令和9年度以降、町内会向けデジタル活用出前講座が開催できるかは未定。指標変更の検討も必要。	初期値を上回る		初期値を上回る
施策（4）市民活動への参加と市民参画の促進	10	市民活動に気軽に楽しく参加できるイベントや事業の充実	市民活動を始めたり参加したりしたいと思えるよう、市民活動に気軽に親しめるイベントや事業を実施します。また、市民ニーズを把握し、イベントの開催方法などを検討し改善します。		市民活動交流フェスタ来場者関心度	【参考】市民活動交流フェスタ来場者数：9,123人		市民活動交流フェスタの来場者に対し、フェスタ（＝市民活動）への関心度を集計アンケートをとった人のうち「団体の活動に関心をもった」と回答した割合 70%	(R8から集計) 70%		R8実績値より算定
	11	多様な方法による、行政の事業への参画機会の充実	市職員の協働の研修を踏まえ、各所属において、各種事業（企画立案、事業実施、評価、改善など）への市民の参画機会を拡充するとともに、市民が積極的に参画したいと感じられる取組を進めます。		（協働研修に参加した職員アンケートから）市民参加型の事業数			重点項目3で実施した市職員向け研修に参加した職員に対し、一定期間をおいてとったアンケート結果市民参加型の事業数：20件	(R8から集計) 20件		R8実績値より算定
施策（5）持続可能な市民活動のための支援	12	町内会・自治会等の事務の負担軽減	行政機関が、町内会や自治会などの地域活動団体に依頼している事務を整理し、団体の事務負担を軽減します。	定性評価により、毎年度、進捗状況を確認する。（地域コミュニティ推進係協議済み）				町内会等の事務負担軽減のため、市などが主催する会議等への出席や市から回覧等を依頼する際の運用基準を示したガイドラインを作成する。	左記取組が達成できるか (定性評価)		R8実績値より算定
	13	持続可能な体制づくり、財源、人材等の支援	補助金や助成金による支援に加え、組織基盤の形成や安定した収入の確保、人材の活用、デジタル技術を活用したDXの推進など、持続可能な運営を実現するための支援を行います。	未来に続くみんなのまちづくり補助金申請件数		【参考】ひとまちづくり活動支援事業補助金の実績報告件数：4件		「未来に続く みんなのまちづくり補助金」の実績報告件数 地域の魅力創出事業：5件 地域協働のプラットフォーム形成事業：3件	(R8から集計) 8件		R8実績値より算定

「第三次郡山市協働推進基本計画（2026～2034）」 成果指標・活動指標及び令和8（2026）年度実施計画					計画進捗と指標の関連性		R8～R10 →年度ごとに活動指標又は成果指標の推移確認 短期的な成果を確認 R11（中間見直し）→市民アンケートで、中期的な成果を確認				
	No.	重点項目	重点項目概要（計画から抜粋）	活動指標	成果指標	令和7（2025）年度取組状況	R7現況値	令和8（2026）年度取組予定	R8目標値	中間見直し（R10）	R15目標値
基本方針3	多様な主体による協働のプラットフォーム										
施策（6）地域の活力を維持するまちづくり	14	地域協働のための仕組みづくり	協働のワークショップ等を実施し、地域の住民が自由に意見を出し合える話し合いの場（協働のプラットフォーム）の形成を支援します。	定性評価により、毎年度、進捗状況を確認する。 協働のプラットフォームモデル地区へのアウトリーチの経過を報告→協議会意見 ※活動＋成果を合わせた定性評価	アウトリーチした地域住民に対するアンケート（協働の重要性の設問）※一次実計 ※活動＋成果を合わせた定性評価			モデル3地区を選定し、町内会、自治会、NPO法人等公益的活動を行う市民活動団体の地域課題解決への取り組みに対してアウトリーチによる支援を行い、アンケート結果も踏まえて、協働のプラットフォーム形成について一定の成果を得る。 ・アンケート「協働が重要」と回答した人の割合：70%	左記取組が達成できるか（定性評価）		R8実績値より算定
	15	地域協働の将来像（ビジョン）の見える化	地域が主体的に、地域課題を提起し、地域づくりのための中長期的な目標を設定できるよう支援するとともに、課題や目標を明確化して共有します。								
	16	持続可能な地域協働のための財源、人材等の支援	話し合いの場を継続的に運営し、地域課題に向き合いながら地域づくりの目標達成を目指すため、必要な財源や人材等、安定した運営のための支援を行います。								
施策（7）広域的に協働の輪が広がる仕組みづくり	17	多様なネットワークを活用した団体間の互助の推進及び支援の強化	協働のプラットフォーム同士が交流できる機会を提供し、資源や情報の共有及び、団体間の互助を推進します。また、行政や団体間のつながり（ネットワーク）の活用や、本市が協定を結ぶ学校や事業者、こおりやま広域連携中枢都市圏の市町村や団体との連携により、団体間の支援体制を強化します。	各種市民活動団体向け交流会に参加する団体・個人数				市民活動フェスタ、ハーモニー賞顕彰者交流会、プラットフォーム交流会等に参加した団体・個人。 フェスタ交流会 8団体（個人） ハーモニー賞交流会 5団体（個人） プラットフォーム交流会 2団体（Z世代等、協働で実施した事業の参加団体含む）	（R8から集計）15件		R8実績値より算定
	18	市民活動サポートセンターやNPOによる広域的な支援	市民活動サポートセンターと関わりのある、専門スキルや資源を持つ市民活動団体や個人と連携して地域に出向き、地域の活動内容に応じて必要な支援を行います。	サポセン満足度	サポートセンターの登録者向けアンケートから集計した「サポセンの満足度」	69.4%	サポートセンターの登録者向けアンケートから集計した「サポセンの満足度」	70%		75%	
全体指標					幸福実感			未来創造課ウェルビーイング係で集計	（R8から集計）		